



令和5年度 秋田大学公開講座

秋田県の自然災害を取り巻く環境と防災科学の果たす多様な役割

秋田大学地域防災減災総合研究センターは、近年増加傾向にある自然災害と複合災害に対し、感染症蔓延下での対応を含めた対策の検討のために令和4年4月に設置され、災害に強い地域づくりのための調査・研究・分析および支援を推進しています。

近年、自然災害を取り巻く環境が変化しています。また、発展が著しい新技術によって、新たな災害対策のあり方を検討することも重要となっています。こうした状況を踏まえて、自然災害を取り巻く環境と防災科学の果たす役割に焦点をあてて、多様な視点から最新の研究や活動を紹介します。



第1回

9月13日(水)

災害医療とは

秋田大学医学部医学専攻 救急・集中治療医学講座 教授 中永 士師明

第2回

9月19日(火)

ダイヤモンドプリンセス号における DMAT 活動

秋田大学医学部医学専攻 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄

第3回

9月28日(木)

地球温暖化・気候変動と水害リスク

秋田大学教育文化学部 地域社会・心理実践講座 教授 林 武司

第4回

10月5日(木)

最近の気象・雪氷災害

秋田大学教育文化学部 英語・理数教育講座 准教授 本谷 研

第5回

10月10日(火)

秋田県における水災害について

秋田大学理工学部 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース 准教授 渡邊 一也

第6回

10月17日(火)

秋田県内の土砂災害事例と最近の研究動向

秋田大学理工学部 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース 准教授 荻野 俊寛

第7回

10月24日(火)

秋田県の地震災害を探る～日本海中部地震から40年震災の記憶と教訓～

秋田大学 地域防災減災総合研究センター 教授 水田 敏彦

《 時間 》 17:30 ～ 19:00 《 対象 》 どなたでも (要申込) 《 受講料 》 無 料

《 受講方法 》 対面・オンラインによるハイブリッド方式により開催します。

①対面による受講【会場】秋田大学手形キャンパス (詳細:後日、申込者に案内)【定員】60名(要申込)

②オンラインによる受講【受講方法】Web会議システム「Zoom」による配信【定員】100名(要申込)

《 申込方法 》 本学ホームページ内「公開講座お申し込み」フォームにて受付

※ 個人情報の取扱いについて
この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。



《 申込締切日 》 9月6日(水)



秋田大学 地方創生・研究推進課

TEL : 018-889-2270

秋田大学 HP : <https://www.akita-u.ac.jp/honbu/>

秋田県の自然災害を取り巻く環境 と防災科学の果たす多様な役割

<p>第1回 9/13 (水) 17:30 ~ 19:00 秋田大学医学部 医学専攻 救急・集中治療医学講座 教授 中永 士師明</p>	<p>災害医療とは</p> <p>地震や津波のような自然災害やテロなどの人為災害が起きた際には大量の傷病者が発生します。時間・人材・資機材に限られた状況下において、内因・外因を問わず様々な傷病に対して緊急対応が求められます。すなわち、災害医療とは需要が供給を上回る状態で行う医療のことです。講義では災害医療について詳しく説明します。</p>
<p>第2回 9/19 (火) 17:30 ~ 19:00 秋田大学医学部 医学専攻 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄</p>	<p>ダイヤモンドプリンセス号における DMAT 活動</p> <p>DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されます。複数の職種から構成されるチームで、大規模災害や多傷病者が発生した現場で活動します。講義では、ダイヤモンドプリンセス号での新型コロナウイルス感染症に関する活動について説明します。</p>
<p>第3回 9/28 (木) 17:30 ~ 19:00 秋田大学教育文化学部 地域社会・心理実践講座 教授 林 武司</p>	<p>地球温暖化・気候変動と水害リスク</p> <p>地球温暖化・気候変動の影響は秋田県にも及んでおり、降水量や降水パターンの変化、河川流量の変化が進行しています。これらの変化は、秋田県内において水に関わる自然災害の発生リスクを高めており、近年では県内各地において水に関わる自然災害が繰り返し発生しています。本講座では、地球温暖化・気候変動の進行に伴う秋田県内の降水量・降水パターン、河川流量の変化の特徴や地域差を概観しながら、水に関わる自然災害の発生リスクについて考えます。</p>
<p>第4回 10/5 (木) 17:30 ~ 19:00 秋田大学教育文化学部 英語・理数教育講座 准教授 本谷 研</p>	<p>最近の気象・雪氷災害</p> <p>近年、地球温暖化や自然破壊・環境変化に伴い気象現象の激甚化が心配されている。また温暖化とは反するような雪氷災害も多発している。このため、激しい降水をもたらす積乱雲に注目し、2017年7月の秋田豪雨や2020年7月上旬の九州・西日本豪雨、2022年8月の秋田を含む北日本での大雨や近年の大雪災害のメカニズムなどについて解説したい。</p>
<p>第5回 10/10 (火) 17:30 ~ 19:00 秋田大学理工学部 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース 准教授 渡邊 一也</p>	<p>秋田県における水災害について</p> <p>秋田県では本年も大雨により、浸水などの被害が発生しました。そのため、今年の被害についての特徴について説明します。また、本年は日本海中部地震による津波から40年となるため、津波に関して、その特徴と対策について述べます。海と陸（河川）の水災害について解説し、秋田県における水災害被害の減少につながれば幸いです。</p>
<p>第6回 10/17 (火) 17:30 ~ 19:00 秋田大学理工学部 システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース 准教授 荻野 俊寛</p>	<p>秋田県内の土砂災害事例と最近の研究動向</p> <p>秋田県における最近の土砂災害の事例を紹介します。また、地すべり地の動態観測結果にもとづいた地下水位の統計モデリングについて、最新の研究動向を紹介します。</p>
<p>第7回 10/24 (火) 17:30 ~ 19:00 秋田大学 地域防災減災総合研究センター 教授 水田 敏彦</p>	<p>秋田県の地震災害を探る～日本海中部地震から40年震災の記憶と教訓～</p> <p>1983年（昭和58年）日本海中部地震は秋田県沖で発生したマグニチュード7.7の地震であり、今年2023年に発生から40年を迎えます。現在でも各方面で震災の記憶や教訓を後生に伝える活動が行われているものの、震災から40年が経過し災害の情報は限られたものとなっています。本講座では、地震の発生メカニズム、特徴といった地震災害の基礎知識を解説した上で、被害の状況や地震が残した教訓などについて説明します。</p>

申込方法

- 本学ホームページ内の「公開講座お申し込み」フォームに必要事項を入力してください。
- 申込締切後、受講に関する案内メールを（shakoken@jimu.akita-u.ac.jp）からお送りします。迷惑メール設定等の受信環境のご確認をお願いします。

※ 個人情報の取扱について

この「公開講座お申し込み」フォームに記入された個人情報につきましては、本学が責任をもって管理し、公開講座に関する連絡以外には使用いたしません。

「公開講座のお申し込み」
フォームはこちら

